

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
 産田たなばたの郷すばる館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.21)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	-			<b>2.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.8</b>	0.35	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		<b>2.0</b>	0.20	<b>2.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.2</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率	昼光利用に努めた	4.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	使用材料・接着剤等はF☆☆☆☆表示の材料とする	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能			-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性	ゆとりある居住空間となるよう計画した		-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	ゆとりある居住空間となるよう計画した		-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30		-			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.1	0.30	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	空間の自由度を高めた	3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域交流スペースを設けた	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	複層ガラスを採用し、熱負荷の抑制に配慮する	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.62 住宅(専有部) -	4.0	0.50			4.0
	集合住宅以外の評価(3a,3b)	LED照明器具を採用し、消費電力の削減に配慮する	4.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)						
4	効率的運用		3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
	集合住宅の評価						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20			2.2
1.1	節水		1.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.9	0.20			2.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	使用材料・接着剤等は F☆☆☆☆表示の材料とする	4.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		2.5	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		建物の熱負荷抑制を考慮し、建築設備からの排熱量を低減する	4.2	0.33			4.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうちれに漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			